

戸隠高原と瑠山～飯綱山 山行報告



【山城】 北信越

【期日】 2/29～3/1 両日とも快晴、ほぼ無風

【形態】 スノーシュー（わかん）ハイク

【参加者】 CL 平野、上茂、小俣、加藤（記録）

【行程】 2/29 戸隠奥社入口駐車場 10:50～随神門～戸隠神社奥社～鏡池～駐車場 14:00
(7km 散策コース、ほぼ平坦)

3/1 戸隠スキー場リフトトップ（瑠山 1748m）11:20～飯綱山 1917m～飯綱神社往復～往路を戻る～ゲレンデ脇下山 16:00

【報告】

2/29 奥社入口の駐車場から出発する。2000年の歴史がある奥社までは2キロの直線の参道が延び、両側に樹齢400年の巨木の杉並木が並んでいる。積雪は20cm程度、トレースもあり、随神門手前の狛犬の頭には雪がたっぷり乗ってまるでリーゼントのようだった。少し傾斜のある参道を登り奥社参拝する。少し戻り、スノーシュー、わかんを履いて鏡池の方向に向かってトレースのない雪の平原に入り込む。赤い鳥居が並んだ稲荷神社を過ぎ、しばらく進むと、目の前が開けて鏡池に出た。快晴、無風の青空の下、西岳と戸隠山の険しい山並みが川の水面に反射していた。暫し大休止。鏡池の氷結した湖面にはトレースはなかったが、凜とした森の池の雰囲気を堪能した。散策後は待望の戸隠そばの賞味である。駐車場に戻り車で地元の有名店「そばの実」を訪れた。ここは普段行列ができていた店だが、当日は待たずに入店できた。「そば三昧」はざるそばにとろろ、クルミ、普通のそばつゆの三種のつゆの付いたお薦めメニューで私以外の3人は味わっていた。店の内装も苔玉をあしらえた清楚な花、壁掛けや照明などにもこだわりのある純和風な造りである。

さて、今宵の宿は H さんの照会で妙高赤倉温泉スキー場のすぐ近くで、奇しくも 3 年前 T さん達とゲレンデスキーで宿泊し、缶ビールと耐ハイを雪の中に埋めておいて除雪車に粉碎されてしまった民宿の裏に位置するホテルである。夕食後は吹き抜けのホールで、マシュマロやイチゴを長い串にさして暖炉の炎に焼いて味わうという体験をした。

3/1 早朝、濃霧のため、別の山域に転進かと思ったが、予定通り戸隠スキー場に向かった。リフトを 2 本乗り継ぐとすぐ目の前が瑠璃山山頂、多くのスキーヤーが寛いでいた。正面に飯綱山、背後に乙妻山、戸隠連峰がそそり立つ。すでにスノーシューのトレースが残る瑠璃山の東斜面を一気に下り、飯縄山の西斜面を夏道通りに登り返す。霊仙寺山からのトレースと合流し、急斜面をよじ登ると丸い飯綱山山頂に到着した。山頂からは妙高山、北



アルプスの山並が望まれた。もう一つのピークにある飯綱神社を往復すし、360 度の展望を満喫して大休止。下山は高デッキ山の平たい尾根を眺めながら、トレースを辿って瑠璃山山頂へ登り返し、ケレンデ脇を辿って下山した。入浴は佐久平 PA にあるエスカレーターで行く「平尾温泉みはらしの湯」に立ち寄った。展望露天風呂や様々な風呂がありお薦めです。

今回は突然参加表明しましたが、H さん始め快く受け入れてくださり感謝しています。